

少しずつ秋気が肌にしみる季節になりましたが体調お変わりありませんでしょうか。さて今回は当院でできるエコー（超音波）検査についてご紹介します。

## エコー(超音波)検査とは

超音波(耳で聞こえる音よりも周波数が高い音)を用いて体の内部を観察する検査法です。皮膚表面にゼリーを塗り、プローブ(超音波を発する探触子)をあてるだけなので、痛みのない非侵襲的な検査です(X線画像検査と違い、被ばくの心配はありません)当病院のエコー装置では以下の検査が可能です。

検査部位	観察項目	所要時間
腹部(上/下)	胃・肝臓・胆嚢・膵臓・腎臓・腸管・膀胱・前立腺・脾臓・大動脈などの大きさ、性状、血流	約30分
心臓	心臓の大きさ、動き、弁の状態、血流	約30分
乳房	乳腺内の小さな腫瘍・乳管内の変化	約20分
甲状腺	甲状腺・頸部のリンパ節などの大きさ、性状、血流	約15分
頸動脈	頸部動脈の血管壁の厚さ、プラークや血栓の有無	約15~20分
腎・泌尿器	腎臓、尿管、膀胱、前立腺(男性のみ)の形態や位置の異常の有無、腎・尿管結石の有無	約20分
体表(一部位)	皮下腫瘍や体表の大きさ、性状	約10分
末梢・下肢血管	足の付け根から膝裏・ふくらはぎの血栓・浮腫など	約40分

費用：3割負担で2500円前後＋診察料

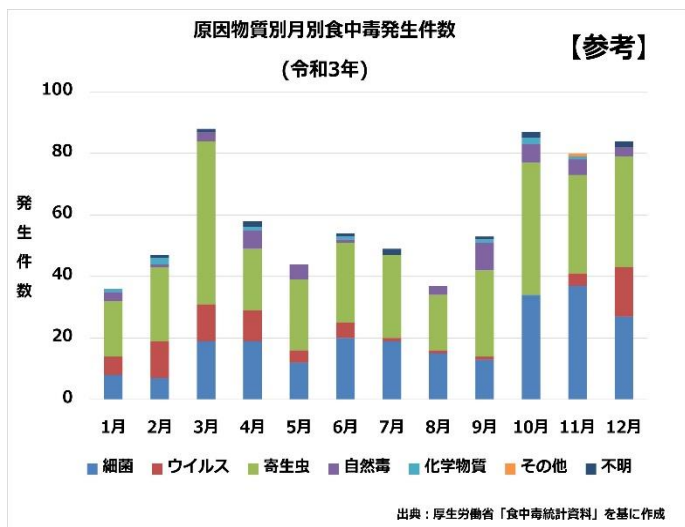
検査結果は、医師より後日または当日説明されます。結果で、専門的治療が必要となれば、その科へのご紹介となり、当院で対応不可の専門領域であれば他院へのご紹介という流れになります。エコーは女性技師が担当します。



# アニサキスなど寄生虫の食中毒は秋に増える!?

## なぜでしょう???

サンマやサバ、サケなどのアニサキスが寄生する魚介類が旬を迎え、口にすることが増えるからです。アニサキスによる食中毒は、**激しい腹痛、悪心、嘔吐**を伴います。



アニサキスとは、寄生虫の一種です。幼虫は長さ2~3cm、幅0.5~1mm程度で白色の少し太い糸のような形状をしています。サンマ、サバ、アジ、カツオ、イワシ、サケ、イカなどの魚介類に寄生します。寄生された魚介類を生（不十分な冷凍や加熱も含む）で食べることでアニサキスの幼虫が胃壁や腸壁に刺入して食中毒が起こります。

食後数時間から十数時間でみぞおちの激しい痛み、悪心、嘔吐が生じたら？

急性胃アニサキス症かもしれません。

食後数十時間から数日後に激しい下腹部痛、腹膜炎症状が生じたら？

急性腸アニサキス症かもしれません。

◎治療法は？

胃アニサキス症は、内視鏡(胃カメラ)で虫体を確認し摘出します。腸アニサキス症では内服薬を用いた、対症療法を行い症状の緩和を行います

◎予防方法は???

アニサキスの宿主となる魚介類を食べないことが最も確実な予防方法です。

生魚を購入した際には速やかに内臓を取り除き、目視にてアニサキスが除去できているかを確認してください。魚の内臓を生食するのは、大変危険です!!

アニサキスは70℃以上または60℃以上で1分間の加熱処理をすることで死滅します。

アニサキスは-20℃以下で24時間以上の冷凍処理をすることで死滅します。



子宮頸がん検診いかがですか？ 金曜日 9時~11時半 予約不要  
胃がん検診も受付中！ 月・火・水 午前 予約必要



患者様にとって、いつも優しく、誠実であること

医療法人  
平和会

平和病院



045-581-2211



045-581-7651

